

担い手強化・連携モデル事業

国土交通省 空き家対策の担い手強化・連携モデル事業
【人材育成と相談体制の整備部門・スタートアップ支援】

1.目的

- ・(仮称) NPO法人リノベーションまちづくり栗東(RMR)の設立(準備)
- ・NPOの自立的運営を目指した仕掛けづくり

2.取組の概要

(1) 住まいの記憶史調査

「住まい」に関する記憶史調査を実施することで、建物所有者の想いに寄り添った利活用希望者へと「記憶」をつなぐことで、安心して「住み継げる」仕組みを構築する。また、調査手法のガイドラインの作成や他地域へのモデルとして情報提供をしていく。

(2) 市街化調整区域における空き家利活用方策の検討

市街化調整区域における空き家利活用を実現していく為、民泊法等による空き家利活用施策の実施に向け、制度改正等のロードマップを作成する。

(3) NPO法人(仮称)リノベーションまちづくり栗東の設立準備

本事業を通じて、NPO法人の設立を目指し、空き家の利活用等促進の一翼を担う人材の育成と相談体制を確立する。また、将来的には、他市のNPOとの連携による機能分担により、多様なニーズに対応すること等も考えている。

(4) ネットワークづくり

空き家、まちづくり関係の専門家や有識者を招聘し、意見交換会を実施。意見交換会を通じてネットワークづくりを行い、関係者と専門家とのつながりやNPO法人への賛同者を増やしていきたい。

■団体名 滋賀県栗東市

■(事業部門 人材育成と相談体制の整備部門・スタートアップ支援) (様式7)

【事業名称】 リノベーションまちづくり栗東(RMR)設立支援事業

【所要額】 5,748千円

【取組の背景と目的】

- ◆ 多様な主体が連携した景観まちづくりの実績を背景に、家屋所有者の想いに寄り添い、美しく街並みと思い入れのある住まいを次代へと住み継ぐ仕組みの構築、NPO法人「リノベーションまちづくり栗東」の設立に向けた人材育成と相談体制の確立を目指す。また、市街化調整区域における空き家の有効活用・家屋の住み継ぎに向け、地域課題の解決とNPO法人の活用ステージの創出を関連付けた仕組み・スキームを構築する。

【取組内容の概要】

